

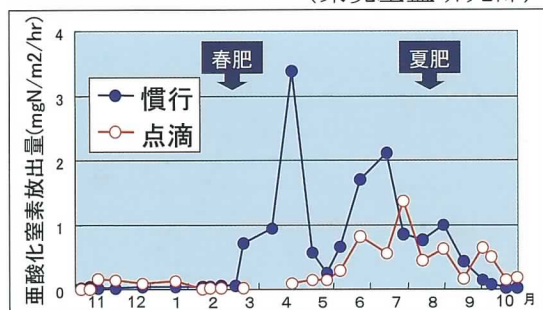
研究トピックス

茶の点滴施肥は亜酸化窒素発生量の抑制に効果あり

茶の点滴施肥栽培により、地球温暖化ガスである亜酸化窒素 (N₂O) の発生量は慣行よりも5割以上低減できました。

茶樹の樹幹下に毎日少量ずつの液肥を施す点滴施肥栽培は、肥料が効率よく利用されるため施肥量を大幅に減らせます。また、土壌中に過剰な無機態窒素が蓄積しないので亜酸化窒素の大気への放出量が少なくなり、地球温暖化防止に貢献できます。

(環境基盤研究部)



ランドレース種の系統造成開始

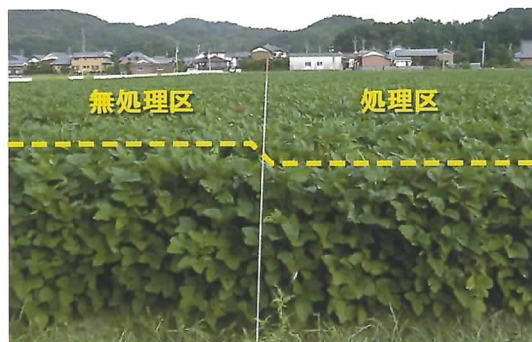
品質の揃った豚を継続して生産するためには、同じ品種の中から個体差が少なく優れた豚を選んでもとになる系統を作る必要があります。現在利用されているランドレース種系統豚「アイリスL2」にかわる系統づくりをスタートしました。産子数を1～2頭増加させるとともに、丈夫な足の豚になるように改良を図ります。平成22年完成予定です。

(畜産研究部)



ダイズ茎の伸びすぎを止める！

西三河沖積地帯のダイズは、生育が旺盛で茎が伸びて倒れやすく、低収の原因になっています。そこで「鋏で茎を切り詰める摘芯」に替わる実用的な2つの方法を開発しました。①塩化カリ肥料を水に溶き防除機で噴霧して茎に肥焼けを起こす。②乗用管理機に広幅のバリカンを付けて走行しながら茎を刈り込む。これらの方法は能率的に茎の伸長を止めることができ、倒伏を防いで生育を改善できます。(作物研究部)



塩化カリ肥料水溶液噴霧30日後の状況

お知らせ

農業総合試験場では、一般県民の方々に農業への理解を深めていただくとともに、農業者の方々に研究の成果をお伝えするため、公開デーを設けます。

農業総合試験場公開デー

日時 平成16年11月10日(水)
午前10時から午後4時まで
会場 農業総合試験場(中央研究棟周辺)
内容 園芸講座と畜産に関する研究会
研究成果の展示、場内見学
試食や農業相談

詳細は企画普及部経営情報グループ(内324)まで

編集・発行

愛知県農業総合試験場

〒480-1193 愛知県愛知郡長久手町大字岩作字三ヶ峯1-1
TEL 0561-62-0085 内線323(企画普及部)
FAX 0561-63-0815
<http://www.pref.aichi.jp/nososi/>